

平成21年5月12日

オリエンタル酵母工業株式会社

日清丸紅飼料株式会社

オリエンタル酵母工業(株)、日清丸紅飼料(株)に養魚飼料事業を譲渡

オリエンタル酵母工業株式会社（本社：東京都板橋区、社長：中村隆司）と日清丸紅飼料株式会社（本社：東京都中央区、社長：山西啓士）は、両社の競争力強化とさらなる発展を目指して、オリエンタル酵母工業(株)の養魚飼料事業（平成20年度の年商は13億円程度）を日清丸紅飼料(株)に本年10月1日を目途に譲渡することで合意いたしました。

飼料業界では厳しい環境の中で、より効率的な経営が求められております。

このような経営環境に鑑み、オリエンタル酵母工業(株)は1960年に事業を開始して以来トップシェアを維持しておりますアユ・マス用を中心とする養魚飼料事業を譲渡することにいたしました。そして、千葉工場の製造をライフサイエンス事業の一環である実験動物用飼料などに特化いたします。

また、日清丸紅飼料(株)はオリエンタル酵母工業(株)からの養魚飼料事業譲り受けにより製品のラインアップの充実を図ると共に、販売網の拡充を通じて今まで以上にきめ細かいサービスの提供を目指してまいります。

記

1. オリエンタル酵母工業(株)は養魚飼料事業を譲渡することで、ライフサイエンス事業などに経営資源を集中

オリエンタル酵母工業(株)は実験動物用飼料のトップメーカーであり、実験動物の分野においても幅広い製商品を取り扱っておりトップシェアの一角を形成しております。

また、近年は遺伝子改変動物の分野にも注力し、静岡県伊豆と京都府南山城にLA（ラボラトリーアニマル）センターを有するほか、神戸バイオメディカル創造センター内に神戸BMラボラトリーを開設しております。

今般、養魚飼料事業を譲渡し、経営資源を実験動物及び実験動物関連ビジネスに集中してまいります。

そして、実験動物関連ビジネスでは遺伝子をキーワードとして、生化学と免疫技術を融合させ、バイオ事業部門の中核であるライフサイエンス事業の業容を更に拡大してまいります。

2. オリエンタル酵母工業(株)千葉工場は実験動物用飼料等に特化

千葉工場の製造は今後、実験動物用飼料等に特化いたします。

千葉工場では実験動物用飼料の特別注文飼料製造ラインにトレーサビリティシステムを日本で初めて導入し、2008年にはISO9001を取得するなど、実験動物用飼料の品質確保に努めてまいりました。また、実験動物用飼料は50%以上のトップシェアを有し、研究者から高い信頼を得ております。

3. 養魚飼料事業を譲り受ける日清丸紅飼料(株)の考え方

日清丸紅飼料(株)は我が国の養魚飼料業界トップシェアのメーカーであり、畜産飼料でも商系1位の会社です。

このたびの養魚飼料事業の譲り受けにあたり、オリエンタル酵母工業(株)のアユ・マス用飼料に関する商権を継承するとともに、知多工場に有する最新鋭の設備と独自の技術力を駆使して、従前よりオリエンタル酵母工業(株)とお取引きいただいております全体的にお客様に、引き続き安心してご利用いただける製品を安定供給させていただく所存です。また、製品の品質に万全を期す一方、お客様の幅広いニーズにお応えするため、販売面におけるサービスの向上にも努めてまいります。

4. (参考) オリエンタル酵母工業(株)及び日清丸紅飼料(株)の会社概要

①オリエンタル酵母工業(株)

本社 : 東京都板橋区小豆沢三丁目6番10号
設立 : 1929年6月30日
資本金 : 26億円
売上高 : 640億円 (2009年3月期)
従業員数 : 893名 (2009年3月現在)

②日清丸紅飼料(株)

本社 : 東京都中央区日本橋室町四丁目5番1号
設立 : 1957年8月1日
資本金 : 55億円
売上高 : 1,709億円 (2008年3月期)
従業員数 : 491名 (2008年3月現在)

—以上—